

レジメン名： Tmab+CapeOx 療法

【適応癌腫】 胃癌

【1 コースの期間】 21 日 【最大コース数】 -

【催吐性リスク】 中度

<1 コース目>

RpNo 注射	薬剤名/手技/コメント	1回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)	day (6)	day (7)
Rp 01	点滴注射 15分かけて パロノセトロン静注0.75mg/5mL「タイホウ」 デカドロン注射液 6.6mg/2mL 生理食塩液 50mL	点滴静注 (速度入力なし) 0.75 mg/Body 6.6 mg 50 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 90分かけて 【用時】ハーセプチン注射用150 生理食塩液 250mL	点滴【化療】 8 mg/kg 250 mL	【冷所保存】	+00:15						
Rp 03	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 120分かけて オキサリプラチン点静注 ブドウ糖注射液 5%250mL	点滴【化療】 130 mg/m ² 250 mL		+01:45						
Rp 04	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 朝・夕食後 (分2) 1.4日分 カベシタビン(ゼローダ)錠 300 day1 タより	※化学療法内服 2000 mg/m ² ※		00:00						
注射										
Rp 05	※化学療法 (薬剤部ミキシング) デカドロン錠 day2 朝より 朝・昼食後	※化学療法内服 8 mg/Body			00:00	00:00				

Day1 タ～Day15 朝まで

<2 コース目以降>

RpNo 注射	薬剤名/手技/コメント	1回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)	day (6)	day (7)
Rp 01	点滴注射 15分かけて パロノセトロン静注0.75mg/5mL「タイホウ」 デカドロン注射液 6.6mg/2mL 生理食塩液 50mL	点滴静注 (速度入力なし) 0.75 mg/Body 6.6 mg 50 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 60分かけて 【用時】ハーセプチン注射用150 忍容性良好なら30分投与可 生理食塩液 250mL	点滴【化療】 6 mg/kg 250 mL	【冷所保存】	+00:15						
Rp 03	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 120分かけて オキサリプラチン点静注 ブドウ糖注射液 5%250mL	点滴【化療】 130 mg/m ² 250 mL		+01:15						
Rp 04	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 朝・夕食後 (分2) 1.4日分 カベシタビン(ゼローダ)錠 300 day1 タより	※化学療法内服 2000 mg/m ² ※		00:00						
注射										
Rp 05	※化学療法 (薬剤部ミキシング) デカドロン錠 day2 朝より 朝・昼食後	※化学療法内服 8 mg/Body			00:00	00:00				

Day1 タ～Day15 朝まで

【備考】

- ・減量基準 血液毒性（好中球減少 grade3 以上、血小板減少 grade3 以上）非血液毒性(grade2 以上)、→ 1 段階減量
- ・減量方法 L-OHP : $130\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 100\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 85\text{mg}/\text{m}^2$ 、cape : $2000\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 1500\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 1000\text{mg}/\text{m}^2$
- ・オキサリプラチンの累積投与量が $800 \sim 900\text{mg}/\text{m}^2$ で末梢神経障害の出現率が増加。
- ・カベシタビン(C 法)の投与量は体表面積で決定される。CCr $30\text{mL}/\text{min}$ 未満は禁忌。
- ・トラスツズマブの心機能障害に注意。
- ・カベシタビンの手足症候群(手足のヒリヒリ感、チクチク感、紅斑、腫脹など)に注意。